

01

いくつかな◆

★★★★☆

思 考	受 容 ★	集 中 ★	転 換	拡 散	表 現
--------	-------------	-------------	--------	--------	--------

受 験	算 数	国 語	理 科	社 会
	計 算			

月 日

■えを みてください。いろいろな いきものや しょくぶつが あります。
れいのように なにが いくつあるのか なまえと かずを かいていきましょう。



【れい】	あり	9
	ちょう	8
	てんとうむし	7
	はち	7
	つくし	5
	ちゅうりつぱい	9
	たんぽぽ	8

保護者様用解説

【初級】Lv.1-1「いくつかな」

今日は、思考力アドバンスコースの最初の問題、Lv.1-1 をご紹介します。

この問題は、初めてのアドバンスの授業で、とても緊張している中で、最初に出会う問題です。

このような冊子の問題を解くことが初めてのお子さまや、問題を自分で読んで解くという形に慣れていないお子さまに、まず、問題を読んでもらうところから始まります。

まず、「読み終わったら、声をかけてね」と伝えて、自分のペースで、自分の力で読んでもらいます。読み終わった子に「今から、何をやるの？」とお声をかけても、「うーん」と考えてしまうお子さまも少なくありません。ただ問題は読んでも、この後、何をやるか、ということを考えながら読んでいないということでしょうか。

ここから、自分で読み解くために、例えば、問題文の下に、線を引いてもらうなど、工夫をしていきます。問題からわかることが書いてあるところに直線を、求められていること、つまり、今からすることの下に波線を引いてもらい、問題文をノートに整理して、何をやるか、を自分で見つけてもらいます。

この時、前回にもお話ししましたが、解答のところにすでに書いてある正解をヒントに、何をやるか、どうするか、を考えていくことは、とても大切です。【れい】のところに書いてあることをヒントとして使えるようになる力も、刺激しています。

お子さまによって、先に名前を書き出すお子さまと、一つずつ、数まで解決していくお子さまといます。これは、どちらでも、自分のやりやすい方法を自分で見つけて、取り組む考え方につながっていきます。

実は、【れい】のありは、比較的、数えやすい配置になっていますが、ほかの生き物や植物は、バラバラに配置されています。ここでも、お子さまによって、そのまま数えていく子、10本の指を全部使って指で押さえながら数える子、印をつけていく子など、いろいろなやり方をしていきます。うまくいかないと、ほかのやり方を考えてみる子もいます。時間や手間がかかっても、「自分で」やり方を見つけていく。アドバンスの目指すところが、この問題にも詰まっているのです。

小さいとき、指をあてて、一つずつ、数唱を言いながら、いくつあるか、数えたことと思います。

一つのものに、一つずつ指をあてる、一つずつ数唱を当てる。そんなことをしながら、数を数えることを1対1対応で数えるといいます。大人になって、バラバラにあるものを数える時、印をつけたり、移動させて集めながら数えたりすると思いますが、それも、1対1対応で数えているのです。小さいとき、「いーち。にー。さーん」と指をあてながら数えた時と同じ数え方をしているのです。